実行的道徳

北村透谷

青空文庫

人は地に生れたるものにして、天を家とするものならず、人生は社会周辺の事実に囲まれてあるものなれば、性行を経綸すべき倫理なるもの一日も無かるべからざるなり。社会は時辰機の如し、一部分の破損は以て全躰の破損となり、遂には運行を止むるに至るべし。之を以て孰れの邦国にも孰れの社会にも必らず何等かの倫理あるなり。近頃実際的道徳の要を知りはじめたる、我日本は、此際深く自ら省みざるべからず。

然れども世間往々にして実際的道徳を誤解するものあり、唯だ其行ひにのみ重きを置きて其の心を問はざるが如き傾きあり。客観的人生にのみ心酔して主観的人生を顧みざるが如き趣きあり。イエスの道徳は其平々坦々たるところに無量の深味あるが故に尊きなれ。彼は偽学偽弁に長じたるパリサイ人を罵れり、彼は罪に充ち汚れに満てるサマリヤの女を救ひに入らしめたり、彼は生命を人間に備へたり、彼は死を人間より絶たんとせり、凡そ斯の如きことは極めて平々坦々たるが如しと雖、其実は無量の深味あるなり。人生は吾等が生存する儘の人生にて止むべきにあらず、上よりの生命あり、下よりの死あり、人生といふものは其まゝなれど、生命の奥義、死の深淵は容易く知り得べきところにあらず。容易く知り得べからざるものを容易く人間に施したるは、イエスのイエスたる所以なりと云ふべし。

人生に満足するの道二つあり、其一は何事にも頓着せずして世を渡ること是なり。其二は知識を以て人生を知覚したる上にて世を渡ること是なり。頓着なきものは福なり、知識あるもの

も亦た福なり、然れども之は世界的に福なるものにして、真に福なるものならず。イエスは敢て人間をして悉く人生を観察せしむることを命ぜず。むしろ人生に就きての深き研究を退けたまへり。頓着なきものも知識あるものも主の前に立ちては同じく頓着なきものなり。同じく愚鈍なるものなり、斯くてこそ平等均一の大経済は行はるゝなれ、斯くてこそ貧しきものをして富みたるものと共に、学あるものをして学なきものと共に、智慧あるものをして智慧なきものと共に、甲乙なくして天国の門に入ることを得るなり。イエスの奥義は幼児の如くになることにあり。イエスにありて福なるものは、有つところ多きものより、有つところ少なきものにあり。雲の中に彼あり、風の中に彼あり、心の中に彼あり、尤も彼に近きものは尤も無心なるものにあり。学者をして無心ならしめよ、無学者をして無心ならしめよ、心の聖きものは福なり、其人は天国を見ることを得べければなり、斯の如くして始めて真正の実行生ず。実行は必らずしも偉大なる事業を期すべきにあらず、人々其の分を守りて出来得る丈の善を成すべし、悪人も一転して善を行ふを得、罪人も一変して義を行ふを得、これぞ基督教が教ふる実行的道徳なる。

（明治二十六年四月）

青空文庫情報

底本：「現代日本文學大系　6　北村透谷・山路愛山集」筑摩書房
1969（昭和44）年6月5日初版第1刷発行
1985（昭和60）年11月10日初版第15刷発行
初出：「聖書之友雑誌　六四號」聖書之友事務所
1893（明治26）年4月15日
入力：kamille
校正：鈴木厚司
2004年10月31日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

実行的道徳

北村透谷

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/